

8月の活動内容報告

ビーバー(BVS)隊



8/2 「えんぴつたてをつくろう」

ガラス瓶に紙ねんどをつけ、そのまわりに持ち寄ったビー玉、ビーズ、貝殻などくっつけ



てえんぴつたてを作りました。タイトルのついた作品にスカウトたちの思いが込められていました。作品が揃ったところで展示会も開かれました。その後はもみじやま公園に出て、ベンチャー隊のお兄さんたちと遊びました。おにごっこにっぽり。お兄さんたちは足が速くてずるい、とあっという間に終わるゲームもありました。



8/23 今年も暑い夏だったので「なつのあつさをふきとばそう」ということで、水のプログラムをしました。

しかし、・・・この日に限って雨。雨の中での集会となりました。まずは3つのグループに分かれて水運び。慎重に、だけど早く運べるチームはどのグループだったかな？そのあとは水鉄砲でのまとあて。金



魚すくいに使うポイをめがけて水鉄砲を撃ちました！シャボン玉も飛んできたので狙ってみました。みんなで狙いあって水鉄砲合戦！とはいきませんでした。皆で協力してまとを狙いました。



初めに入隊者も3名あり。益々パワーアップしたビーバー隊となっています！

カブ(CS)隊



8/2 前週から始まったテーマ“はたとひも”で、ひもにより親しもうとロープ遊びのスタンダード「8の字なわ引き」を。うさぎスカウト(3年生)にとっては初めての

遊びなので遊び方やコツを教えたけれど、みんな綱を引っ

張ることばかり頑張っちゃって、緩めたりするテクニックはあまり使えませんでした。

ロープ結びのプログラム2回目の締めくくりは“ロープ結び

いくつおぼえたか選手権”で組對抗戦を行いました。今回はうさぎスカウトがしかスカウト(4年生)やくまスカウト(5年生)の結びをよく覚えていた1組が優勝しました。最後にくまスカウトの課題である国旗掲揚をもみじ山公園に出て練習。毎回練習して慣れて欲しいところですが、据置の国旗ポールが無い環境の中野8団にとっては練習が大変です。(というか準備をする指導者が大変です・・・リーダーの独り言)



8/16 舎人公園デイキャンプ

残念ながら3泊4日の夏のキャンプが中止になってしまったので、今年のキャンプとして足立区 都立舎人公園に出掛けました。ウィルス感染防止のために、しっかり検温、マスク着用して、地下鉄/舎人ライナーの移動には気を付けて、野外料理は控えて実施となりました。

キャンププロ①ハイキング。地図上のチェックポイントを追っ





て課題をクリアして進みました。途中、虫探しや木の枝集め、そりすべりなどを経てキャンプ場へ。暑い日差しの中、何とかみんなたどり着きました。

キャンププロ②ペットボトルゲット大作戦！喉がカラカラなので、リーダーが冷たい甘いジュース“サングリア”を準備してくれていますが、材料になるペットボトルを組毎にゲットしなければなりません。前週までのテーマなわ結びの引きとけ結びで、組で力を合わせて確保しました！

キャンププロ③テントたて。キャンプといえばテント！リーダーに教わりながら組毎にしっかりテントを立てて、中で一休み。ここでお弁当とさっきのサングリアを飲んで元気をチャージです。



キャンププロ④キャンプファイヤー。カブコールの後、国旗を掲揚し、炎天下の中ですがキャンプファイヤー体験をしました。みんなの好きな“ヤヤヨーヨーユピ”と“ピスタ”を歌って踊りました。

キャンププロ⑤火おこしゲーム。料理は作れなかったけど、初めてみんなで火をおこしました。薪を集めて葉っぱを敷いて、マッチを擦って、何度もトライして火が付いたところで自分の枝で焼マッシュマロを焼いて食べました。

とても暑い一日でしたが、楽しく遊んであっという間の一日でした。

最後にアメリカに引越す仲間の一人にネッカチーフの寄せ書きを渡してお別れをして、一日だけの今年の夏のキャンプが終わりました。みんな汗ダクだったけど、笑顔があふれてました！



8/30 8月なのに既に2学期が始まった今年の夏、カブも9月のテーマ“森の将来はまかせておけ！”がスタートしました。環境と森林保護がメインですが、導入のこの日は自然の観察の手段として大きさ/長さ/高さを知るための計測がテーマです。朝の洗濯物リレーに続き、体、身の回りの物の長さを調べて(うさぎスカウト課題)、その長さを使って室内と外で物の長さを調べる(しかスカウト課題)。主に自然の木の高さや太さなど並行してくまスカウトの課題である歩測による50mの計測。これから身の回りの物を目分量で計測する能力を見つけてくればと思います。

ボーイ(BS)隊



8/2 班集会を行いました。以降の野外活動の再開に向けて、立ちかまどの製作の復習を行いました。立ちかまどは竹を材料に紐で縛って組み上げた、コンロです。一年ぶりの作業に、記憶をたどりながら、手分けして組み上げましたが、出来上がったかまどは手で触るとぐらぐら。これでは危なくて鍋を火にかけることはできません。キャンプまでに、縛り方の特訓が必要そうです。



8/23 本日も班集会。杉並3団さんの活動場所をお借りして、テントを建てる練習をしました。



普段は使わないA型テント。生活するには快適なテントですが、バランスよくロープを張らないと風で倒れたり、雨漏りしたりします。今のスカウト達は初めての経験でしたが、ベンチャースカウトに教わりながらなんとか建てることができました。

8/30 班会議を行いました。秋のキャンプのための献立を考えました。セーフ・フロム・ハームについて話し合いをしました。

ベンチャー(VS)隊



8/4 H君とS君がジュニアリーダーとしてビーバー隊の集会の手伝いをしました。K君とM君がボーイ隊の班集会の支援をしました。

午後は隊会議を行い、8月の間にハイキングを実施することを決定しました。

8/23 H君とS君がジュニアリーダーとしてビーバー隊の集会の手伝いをしました。K君がボーイ隊の班集会の支援をしました。

8/30 隊集会で御岳山でハイキングを行いました。



8月のスカウト進歩情報

BVS :	I. O. ちゃん	小枝章5本目、小枝章6本目、1年章
	K. O. ちゃん	小枝章5本目、小枝章6本目、1年章
	T. I. くん	小枝章4本目、小枝章5本目
	K. Y. くん	小枝章3本目、小枝章4本目、1年章
	S. I. くん	小枝章3本目
	N. N. ちゃん	小枝章1本目、小枝章2本目
	M. S. ちゃん	小枝章1本目

CS :	K. K. くん	チャレンジ章「ハイカー」「技術博士」
	H. O. さん	チャレンジ章「動物愛護」「気象学者」「修理博士」

ビーバー隊は
5月～8月の
進歩状況を
掲載しています



ちよつとほつとえいと

活動で見つけたほのぼの話

「活動の写真是ホームページにアップされています」と、右下でご連絡していますが、実際にはなかなか更新ができていません。追いついていないのが実情です。8団のホームページも既に15年以上フォーマットをそのままに運用し続けています。本当は現在のIT情報社会に則した発信方法として刷新したいところですが、現在の指導者の知識だけでは追いついていません。ITに詳しい保護者の方々のご協力を賜りたく、よろしくお願いいたします。



リーダーの活動

- 8/3 BS 講習会スタッフ会議
- 8/4 団会議
- 8/22 地区コミ会議
- 8/29 BS 講習会スタッフ会議
- 8/31 地区各種委員会

* 活動の写真是ホームページにアップされています。個人情報保護のためパスワードがかかっていますので、隊長にパスワードをご確認の上、アクセスして下さい。現在、夏キャンプまでの写真がアップされています。
<http://bsn8.world.coccan.jp/>

スカウト豆知識

「敬礼とサイン」

スカウト活動の中で、特徴的なことの1つに敬礼とサインがあります。敬礼は指をたて、拳手で右手を額にあてますが、部門によって少しずつ違います。

ボーイスカウト以上

敬礼は「ちかい」の3項目にちなみ、3本指（人差し指・中指・薬指）だけを伸ばした拳手注目の敬礼を行います。この時、手のひらは下に向け、指でひさしを作るような形を作ります。三指（さんし）の敬礼と呼ばれます。スカウトサインは、右手で三指を作り肘を90度に曲げ上へあげます。

「私はスカウトであります」という世界共通のサインです。

カブスカウト

敬礼は「カブ隊の約束」にちなみ、2本指（人差し指・中指）だけを離して伸ばし拳手します。手のひらは相手に向けます。2本の指を開きV字にするのは、2本の指を動物の耳と見立てているからです。カブサインは右手で2本指V字を作り、腕をまっすぐ上へあげます。

ビーバースカウト

「ビーバー隊の約束」にちなみ、2本指（人差し指・中指）だけをくっ付けて伸ばし拳手します。ビーバーの2本の前歯に見立てています。

この三指の敬礼については、「無名のスカウト戦士（Unknown Soldier）」という逸話が残っています。第二次世界大戦末期、戦場で負傷し身動きできなくなった米軍兵士が日本兵と遭遇した際、意識を失った彼を日本兵は殺さず、傷の手当てをして立ち去りました。米軍兵士の手元に残されていたメモには、「私は君を刺そうとした日本兵だ。君が三指礼をしているのを見て、私も子供の頃スカウトだったことを思い出した。どうして君を殺せるだろうか。傷には応急処置をしておいた。グッド・ラック。」と英語で記されていました。スカウトだった米軍兵士は、死に瀕して無意識に三指の敬礼をしていたのです。このエピソードがアメリカ大統領に伝わり、当時の日本の少年団（現在のボーイスカウト日本連盟）に問い合わせがあったが名乗り出る者はいなかったそうです（この日本兵は戦死したのではないかとされています）。後に、日本中のスカウトの募金によって、神奈川県横浜市の「こどもの国」にこの無名のスカウト戦士の記念像が建立されました。